

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

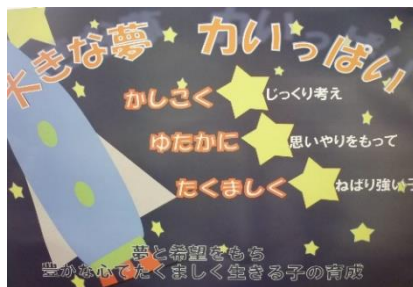


さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立 大宮別所小学校

学校教育目標「大きな夢 力いっぱい～かしこく ゆたかに たくましく～」のもと、令和時代を生きる子どもたちの育成に取り組んでいます。また本校の卒業生である若田光一宇宙飛行士からも、夢をもつことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを学んでいます。



01 福祉教育・安全教育の充実



本校では学校行事や総合的な学習の時間を通し、福祉・安全に関する様々な取組を行っています。第5学年では

「だれもが住みやすい町」をテーマに車いすやアイマスク・白杖体験を行い、実感を伴った学びを通し、考えを深める学習を実践しています。

また、第4学年児童対象の自転車運転免許試験や第6学年児童対象の薬物乱用防止教室、全校児童を対象とした交通安全教室や防犯教室では、警察署などの外部機関とも連携し、効果的な学びの機会とできるよう努めています。活動の事後に道徳・各教科の学習と関連させ、ふり返りや話し合う時間を設定することで、より生活や行動に生かせることができるようにしていきます。これらの活動を通し、SDGsの目標である健康や福祉、持続可能な町づくりに寄与していきたいと考えています。



02 保護者・地域との連携



本校の学区には果樹農園や園芸農家などがあり、それら地域の教育力を活用した教育活動を行っています。本校

にある梨の木は地域の農園の方の指導のもと、栽培委員の児童が1年を通し世話をし、収穫まで行います。収穫した梨は給食で提供され、食育の一環となっています。また、第3学年児童は地域の園芸農家での見学学習を行っています。なぜ大宮別所小の学区では梨の栽培が盛んなのだろうか…などと考えさせることで、地域の特色や、学校の教育活動に携わってくれている地域の方たちの協力を目を向けさせていきます。

保護者と連携し作成した地域の「ヒヤリハットマップ」は、児童の安全教育に活用されています。さらに、PTA活動のひとつとして、児童の不要になった靴や文房具を収集し、慈善活動団体に寄付、海外に送る取組も行っています。今後も地域とのパートナーシップをさらに充実させ、SDGsの目標に貢献していきたいと考えます。

